

課題

【 校内研修 】「全国学力・学習状況調査」の研修における活用率が低い

手立て

- POINT① 校内研修 1：実施直後の自校の実態分析
- POINT② 校内研修 2：調査問題のねらいの把握と「授業づくり」の検討
- POINT③ 校内研修 3：調査問題を生かした授業実践

具体例

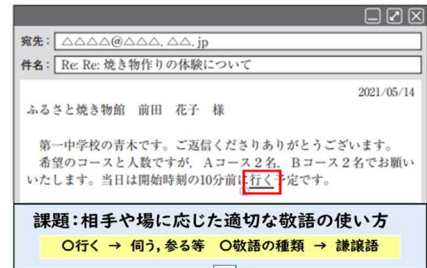
POINT① 校内研修 1：実施直後の自校の実態分析

- 国語、算数・数学等の年度当初の実態把握
 - ・児童生徒の解答の写しを取り、職員研修で仮採点を行い、年度当初に実態を把握する。
- 児童生徒質問紙の重点設問に関する実態把握
 - ・児童生徒の学習への意識や授業への取組状況、家庭学習の状況等を把握する。



POINT② 校内研修 2：調査問題のねらいの把握と「授業づくり」の検討

- 調査問題のねらいを把握
 - ・仮採点により、調査問題のねらいや求められている資質・能力を把握する。
- 調査問題のねらいをもとに「授業づくり」を検討
 - ・これまでの授業の振り返りを行い、「どのような授業づくりを行っていけばよいか」を検討する。



実生活の場面を想定した言語活動を位置付けた学習

R3 中学校国語④ より

POINT③ 校内研修 3：調査問題を生かした授業実践

- 「思考し、表現する力」を高める授業実践
 - ・実践モデルプログラムを取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
 - ・調査問題を生かした研究授業を行う。
 - ・授業とリンクした「主体的に取り組める家庭学習」の在り方を検討する。

